

神川中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

◆小中一貫教育目標（小中学校で目指す子ども像）

神川ブロック 9年間の教育目標

自他、人権、地域を大切にすることを育てる。

～基礎・基本を身につけ、目標をもって学習に励む子ども・豊かな人権感覚を持ち、自己と人を大切にできる子ども・地域を愛し、地域とともに成長する子ども～
 神川小：「自ら学び、健康で心豊かな子の育成」
 久我の杜小：「なりたい自分を実現するために努力する子」
 羽束師小：「確かな未来をめざし、認め合い、高め合う子の育成」
 神川中：「『愛』と『学』と『志』を持った生徒を育てる」

◆9年間の学びと育ちの概念図

目 標

生徒一人一人が自らの生き方を考え、将来の目標を主体的に設定し、実現のために学び、努力し続ける意欲や態度を身につけるとともに、様々な課題に対応し、社会人として基礎・基本となる力を身につける。

お互いに認め合い刺激し合い、見通しをもって自分の力を伸ばそうとする姿勢を身につける。

お互いに認め合い刺激し合い、見通しをもって自分の力を伸ばそうとする姿勢を身につける。

主な取組など

- 修学旅行
- 卒業生・高校の先生の話聞く会
- 校外学習と発表会（大学訪問・京都市の史跡めぐり・キャリアについてインタビュー）
- 生き方探究 チャレンジ体験
- 校外学習と発表会（高校訪問・京都市の史跡めぐり・英語でのインタビュー）
- 小学生向け発表会

- 修学旅行
- フューチャシティ
- 科学センター学習
- 非行防止教室
- 薬物乱用防止教室
- 京都市内めぐり
- 環境学習
- モノづくりの殿堂・工房学習
- 長期宿泊学習
- 野外活動宿泊学習

- 社会見学
- 交通安全教室
- 遠足
- 校区探検

子どもたちにつけたい学力・学習規律など

<学ぼうという意欲をもち、社会を生き抜くための『確かな学力』をつける>

- 自らの思考や感情を律し、自己を信じて、主体的に行動し、今後の成長のために学ぼうとする力
- 他者の考えや立場を理解し、自分の考えを正確に伝えながら、自らの役割を果たそうとする力
- 将来を設計し、達成するための課題を見つけ、適切な計画をたてて課題に対応する力
- 『働くこと』に関して、自らの役割を踏まえながら、様々な情報を取捨選択・活用し、自ら主体的に判断し行動する力
- 基礎的・基本的学習内容の定着と、発展的内容に取り組もうとする意欲
- 家庭学習の継続と内容の質的向上に向けて取り組む姿勢

<自ら学び、共に高め合おうとする子の育成>

- 基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、それを生かす力
- 見通しをもって問題に取り組み、最後まで解決しようとする力
- 自分の考えに自信をもって発信する力
- 体験したことや考えたことを要約して発信する力
- 自ら課題を設定し、主体的に考え、解決していく力
- 伝統・文化・地域・自然を大切にする力
- 一人ひとりのちがいを認め合う力
- 人間関係を豊かにするコミュニケーション力
- 自分の考えを吟味し、振り返る力

<学び方を知り、仲間を大切にする子の育成>

- 積極的・継続的に学習に取り組もうとする力
- 結果をおそれず、何事にもチャレンジしようとする力
- 自分の思いをもって、しっかりと相手に伝える力
- 相手の気持ちを考え、思いやりをもって接する力
- 様々な人に積極的に関わりながら、他者を理解する力
- 気持ちのよいあいさつをして、よい人間関係を築こうとする力



軸となる取組・活動

確かな学力

義務教育卒業時につけたい力

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得して活用できる力
- 筋道を立てて思考し、表現できる力

学年または学年区分ごとにめざす姿

数や量の大きさ、図形についての感覚を豊かにする。
 問題場面や問いの意味を正しくとらえる。
 自分の考えを、わかりやすく説明できる。
 他人の考えを、自分の考えと比べながら聞き、わからないことなどを質問できる。
 数量の関係を図で表すことの習慣化が身に付いている。

論理的思考力が身に付いている。
 根拠を明らかにし、筋道立てた思考・表現を行うことができる。
 数学的な推論をもとに、思考の過程や判断の根拠を言葉で整理できる。

問題解決のための情報を集めて思考し、その思考過程や判断の根拠などを説明できる。
 数学的活動を通して数量や図形などの基礎的な概念や原理・法則の理解を深める。

小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
取組・活動 一人一人の学習状況を見取り、学習の定着を図る。 一人一人の学習状況を見取り、学習の定着を図る。 一人一人の学習状況を見取り、学習の定着を図る。 基礎・基本を中心とした学習の定着を図る。 論理的思考力を育成するために自分の考えを表現する方法について取り組む。 基礎・基本を中心とした学習の定着を目指す。 自分の考えを表現するような論理的な思考を伴う課題に取り組む。 基礎・基本を中心とした学習の定着を目指す。 自分の考えを表現するような論理的な思考を伴う課題に取り組む。 平日課題に取り組み、基礎・基本を中心とした学習の定着を目指す。 授業において、論理的な思考を伴うような課題に取り組む。 平日課題に取り組み、基礎・基本を中心とした学習の定着を目指す。 授業において、論理的な思考を伴うような課題に取り組む。 平日課題に取り組み、基礎・基本を中心とした学習の定着を目指す。 授業において、論理的な思考を伴うような課題に取り組む。								
<中学校ブロックとしての取組> 机間巡視等により学習状況を把握する。 振り返りや家庭学習などでも活用できるノート作りをさせる。 問題文や課題の中で、キーワードに印をつけさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 自分の考えを絵や図などを用いて表現させるようにする。 机間巡視等により学習状況を把握する。 ひな形を提示して、発表や説明をさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 ひな形を提示して、発表や説明をさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 論理的な思考を伴うような課題への取組をさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 論理的な思考を伴うような課題への取組をさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 論理的な思考を伴うような課題への取組をさせ、自ら表現し説明できるようにさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 論理的な思考を伴うような課題への取組をさせ、自ら表現し説明できるようにさせる。 机間巡視等により学習状況を把握する。 論理的な思考を伴うような課題への取組をさせ、自ら表現し説明できるようにさせる。								

豊かな心

義務教育卒業時につけたい力

- 規範意識を身に付け、思いやりの心を持ち、自主的に判断し行動できる力
- 自己肯定感や自己有用感等の自尊感情を持ち、互いを尊重する態度を培う力

学年または学年区分ごとにめざす姿

友だちと仲良くし、助け合える。
 自分からすすんでがんばれる。
 思いやりを持ち、集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合える。

自分の思いを持ち、相手の思いを受けとめることのできる。
 集団における自己の役割と責任を果たせる。
 集団の一員として、自分を認識し、向上を図ることができる。
 自律の精神を持ち自他共に高めていこうとする。
 社会の一員としての自覚を持ち前向きに歩むことができる。

小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
取組・活動 道徳などで、他者への意識を育てる課題を活用する。 道徳などで、他者への意識を育てる課題を活用する。 学級でのグループ活動を通して、協力し助ける活動を実施する。 学級でのグループ活動を通して、協力し助ける活動を実施する。 たて割りのグループ活動を計画的に実施し、高学年のリーダー意識を育てる。 たて割りのグループ活動を計画的に実施し、高学年のリーダー意識を育てる。 生徒会活動を充実させ、学年を中心とした集団づくりを進める。部活動を通して主体性・自律性・社会性を育成する。 生徒会活動を充実させ、学年を中心とした集団づくりを進める。部活動を通して主体性・自律性・社会性を育成する。 生徒会活動を充実させ、学年を中心とした集団づくりを進める。部活動を通して主体性・自律性・社会性を育成する。								
<中学校ブロックとしての取組> 誰にでも温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。 困っている友だちに対して、思いやりの心を持って接しようとする態度を育てる。 相手のことを思いやり、親切にしようとする心情を育てる。 自分でやろうと決めたことは、あきらめないうで、工夫して粘り強くやり遂げようとする意欲を育てる。 相手の気持ちになって、互いに信頼し、励まし合って友情を深めていこうとする心情を育てる。 誰に対しても思いやりの心を持ち、常に相手の立場に立って物事を考え、優しく親切に接しようとする心情を育てる。 誰に対しても温かく思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。 社会のために役立つ喜びを知って、進んで公共のために役立つ態度を養う。 他の人々に対し、思いやりの心を持って接していこうとする、道徳的な態度を育てる。 人は関わり合いの中で生きていることを感じ取り、感謝と思いやりの心を持って行動しようとする心情を育てる。 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して思いやりの心を持って接しようとする態度を育てる。								

学びに向かう力・人間性

義務教育卒業時につけたい力

夢と誇りを持ち、社会をたくましく生き抜く力
主体的に学びに向かう力

学年または学年区分ごとにめざす姿

身近な地域や環境の中で、様々な方にお世話になっていることに気づくことができる。		地域や生活の中で、困っている人の役に立つことや自分ができることを考えることができる。		解決のための調査や情報収集等、適切な計画を立てて取り組むことができる。 多様な方法を考え、主体的に解決することができる。		社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考え、目標を立てて計画的に取り組む、進路を選択・決定することができる。		
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
<p>取組・活動</p> <p>学校探検 むかし遊び</p>	<p>まちたんけん いきものはかせ</p>	<p>お年寄りとの交流 地域の伝統文化・音楽</p>	<p>お年寄りとの交流 環境学習 住みよい町づくり (福祉)</p> <p>ノート指導</p>	<p>スチューデントシティ 防災学習 環境学習</p>	<p>スチューデントシティ 京都市内寺社・史跡めぐり いろいろな国について</p>	<p>京都の高校訪問・京都市の史跡めぐり (英語によるインタビュー)</p>	<p>生き方探究チャレンジ体験 京都の高校・大学訪問・京都市の史跡めぐり</p>	<p>自己の未来 卒業生のお話を聞く会 高校の先生のお話を聞く会</p>
<p><中学校ブロックとしての取組> 幼児や異学年・保護者や地域の人々など様々な人と交流することを通して、児童の学ぶ意欲を高め、さらに言語活動の充実を図る。</p>		<p>地域の方やお年寄りとの関わりをもつことによって、地域社会に愛着を感じ、地域や伝統・文化を大切にしようとする態度を育成する。 自らが調べたり、考えたりしてわかったことをまとめ、わかりやすく発表できる力を養う。</p>		<p>生活は人々がそれぞれの役割を分担し、お互いに支え合い補い合う共存社会の中で成り立っていること、社会の仕組みなどを具体的に理解させ、自らの生き方について考えさせる。</p>		<p>将来に対する夢や憧れを描くとともに、学ぶことや働くことの意味や役割について考える態度や能力を育成する。</p>	<p>自分の将来を考え、夢を実現するために努力する態度を育成するとともに学ぶことや働くことの意味や役割・多様性について考える態度及び能力を育成する。</p>	<p>地域や社会の一員としての役割を理解しながら自分の将来を考え、継続的な努力をする態度を育てる。 学ぶことや働くことの意味や役割・多様性を理解し主体的に進路選択ができる力や態度を育成する。</p>

学びの約束・ルール

項目	小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
話し方・聴き方・読み方	全員に聞こえる声の大きさと話す。話をしている人の方を向いて聞く。姿勢を正しくして大きな声で読む。		相手や場にあった話し方をする。自分の考えと比べながら聞く。姿勢を正しくしてはっきり大きな声で読む。		目的や意図をはっきりさせてわかりやすく話す。必要に応じてメモを取りながら聞く。姿勢を正しくして相手を意識して読む。		相手の意見を受けて、自分の考えを的確に表現する。話をしている人を見て、正しい姿勢で、必要に応じてメモを取り、自分の考えと比較しながら聞く。姿勢を正しくして相手を意識しその場に応じた読み方をする。		
ノートづくり	はみ出さないように丁寧に書く。		正しく丁寧に見やすいように書く。大事なところは線を引いたり囲んだりする。		学習内容や大事な事柄が見やすいノートを作る。先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイントなどを付け加えるなどして、わかりやすくまとめる。		学習内容を整理し、見直しに活用できるノートを作る。先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイントなどを付け加えるなどして、見やすくわかりやすくまとめる。		
あいさつ 言葉使い	大きな声であいさつや返事をする。				相手を意識したあいさつや言葉遣いをする。自ら進んであいさつをし、低学年の良い見本となる。		その場に応じたあいさつや言葉遣いをする。丁寧語・尊敬語・謙譲語を適切に使う。相手に伝わるような言葉遣いをする。		